

「まだ、まにまにやろう」 記述内容吟味。

（「コロンビア川の放射能の濃縮データ」）

アメリカのコロンビア川での濃縮データを例にとりますと、川の水の中の放射能を一とすると、プランクトンで二千倍、それを食べた小魚が一万五千倍、小魚を食べたアヒルが四万倍、水鳥の卵が何と百万倍にもなるのです。その卵を食べた人間は果して？……どうなるのでしょうか。

（ミズーシ）

答. 一、このコロンビア川の濃縮データは、リン(P)

という元素のものである。しかし、原子力発電所からはリンは出ない元素である。

二、今日のチェルノブイル事故で問題になっている

ホウリンは放射性元素である。

二、今日のチェルノブイル事故で問題になっている

元素はセシウムである。セシウムは、採取すれば、採取
する量に比べて、放射能が強く、有機水銀と
は違うものである。セシウムは一部人体に残るが、
大部分は排泄されてしまう。

三、したがって、川の中の放射能を測った時に、

最終的にどの程度人体に残るかは、その元素

で、どのような過程を経て口に入るか、あるいは、どの程

度排泄されるかなどを科学的に調べることがある。